

# 曲目解説

研究熱心な各校顧問の選曲により、毎回充実したプログラムで注目されているジョイントコンサート。今回も新作・話題作が満載の熱いプログラムでお送りします。解説も頑張って書きます。お楽しみに！

## 各校演奏

### ●ミュンヒハウゼン男爵の冒険

*The Adventures of Baron Munchausen*

(Ⅲ)月への飛行 (Ⅳ)地底旅行

### ベルト・アッペルモント

*Bert Appermont ( b.1973:ベルギー )*

ベルギーの若手作曲家アッペルモントは、1998年に母国のレメンス音楽院を卒業後、本格的に作曲家として活動を始めた。手掛けるジャンルは多彩だが、吹奏楽曲のレパートリーが豊富で、日本でも演奏される機会が多い。この曲は18世紀ドイツに実在したミュンヒハウゼン男爵が、壮大な冒険話として周囲に語った奇想天外な「ほら話」から着想を得て作曲された。4つの「ほら話」が描かれた4曲構成の組曲で、このうち今回は、月に行き多くの不思議な生物に遭遇する、第3曲「月への旅行」、火山の噴火口に飛び込んで、地球の中心部に向かって旅をする、第4曲「地底旅行」を演奏する。…勿論、いずれも「ほら話」。2012年作曲の最新作。

### ●元 禄

*Genroku*

### 榎田肤之扶

*Tetsunosuke Kushida ( b.1935:日本 )*

榎田肤之扶は京都の邦楽の家に生まれ育ち、その作品は、伝統的な邦楽を基調とした日本的・民族主義的な作風が特徴である。本作は17世紀末～18世紀の江戸時代、徳川第5代将軍綱吉の治世に華開いた「元禄文化」に想いを馳せて作曲された。この時代は政治的に安定しており、自由奔放な町人の文化が溢れ、文芸でも著しい発展が見られたという。1992年作曲。

### ●探 求 - 交響曲第3番「ドン・キホーテ」より

*The Quest - From Symphony No.3 "Don Quixote"*

### ロバート・スミス

*Robert W.Smith ( b.1958:アメリカ )*

アメリカの作曲家R. W. スミスの作品群は、1990年代後半に吹奏楽界で爆発的にヒットした。比較的簡単な書法で書かれながらも、「格好良く」聴こえる曲が多く、当時は新作が発表されるたびに話題となった。近年の吹奏楽界では若手作曲家の成長が著しく、レパートリーも豊富になり、かつてほどはスミス作品は目立たなくなった。しかし、彼自身は現在も精力的に新作を書き続けており、今後も期待したい作曲家である。この交響曲第3番「ドン・キホーテ」(全4楽章)は、スペインの作家、セルバンテスの小説に着想を得て作曲された。内容は騎士道物語の読み過ぎで、現実と物語の区別がつかなくなった主人公(ドン・キホーテ)が、世の中の不正を正すために旅に出るというもので、今回は第1楽章「探求」を演奏する。2008年作曲。

### ●エステロ・デ・エスパーニャ・ポル・ケ?

*¿Estilo de España por qué?*

### 天野正道

*Masamicz Amano ( b.1957:日本 )*

天野正道は大変実績を持った作曲家で、管弦楽などの古典音楽はもちろん、映画、テレビ、アニメ、ゲームに至るまで、あらゆる音楽ジャンルで活躍している。この曲は天野氏の同郷の先輩音楽家(S氏)からの「スペイン風の曲を書いて！」(…しかも「愛」の表現を盛り込んで!)という要望に応じて2008年に作曲された。書き上げるのに相当苦勞したようで、タイトルは「何でスペイン風なんだ？」という意味のスペイン語が付けられている。興味ある方は作曲の経緯を調べてみると面白いだろう。スペインの伝統的リズムや民謡など、伝統音楽の要素を出来るだけ損なうことなく散りばめられた曲で、要望通りの「愛」の表現も盛り込まれている。

## ●「交響曲第3番」より - 第3楽章(ナタリーのために) ジェイムズ・バーンズ

*The Third Symphony - Mov. III ( for Natalie )*

*James Barnes ( b.1949:アメリカ )*

バーンズはカンザス大学で教授を務めながら作曲を行っており、吹奏楽界で最も有名な作曲家の1人である。初心者向けの親しみやすい曲から、交響曲のような大曲まで幅広く手掛けており、いずれの作品も高く評価されている。1994年作曲「交響曲第3番」(全4楽章)は最高傑作の1つで、その第3楽章には「ナタリーのために」の言葉が付されている。これは生後半年で亡くなった作曲者の愛娘、ナタリーがもし生きていたら語りかけたであろう言葉、そして彼女への別れが、切ないほど美しく描かれた曲である。優しいメロディは、暖かな父娘の情景を想わせ、悲しみを誘う。最後は天国にいる娘への別れで、静かに終幕を迎える。

## ●ガリア戦記

*De Bello Gallico*

## バルト・ピクール

*Bart Picqueur ( b.1972:ベルギー )*

(I)戦場 (II)儀式 (III)勝利...のようだが

ベルギーの若手作曲家ピクールは、ベルギー各地のコミュニティ吹奏楽団の指揮者として活躍しながら作曲活動を行っており、個性的な作風で近年注目されている。この曲は有名な古代ローマの将軍カエサルが書き残した戦争記録「ガリア戦記」より、紀元前57年のローマ軍と現在のベルギー一帯で暮らしていたネルウィ族の間に起きた「サビス川の戦い」にテーマを絞って、全3曲の組曲として作曲された。第1曲「戦場」：ネルウィ族が息を潜めて待ち構える戦場に、ローマ軍が太鼓とラッパを鳴り響かせ姿を現す。攻勢をかけるネルウィ族に押され、ローマ軍は一時退却を余儀されるが、戦いは体勢を立て直したローマ軍の勝利に終わり、戦場には悲惨な光景が残される。第2曲「儀式」：戦闘に加われないネルウィ族の女、子供、老人たちは沼地に難を逃れた。戦いで失われた者たちへの葬礼の儀式が描かれている。第3曲「勝利...のようだが」：生き残ったネルウィ族の人々が次第に踊り始める。太鼓や手拍子を打ち鳴らし、ネルウィ族の勇気を称え合いながらビールを飲み、カエサルを茶化す歌でうさ晴らしする。しかし、宴は長くは続かない。最後はローマ軍のラッパが不協和音で覆い被さり、曲は混沌とした雰囲気の中で結末を迎える。作曲者ピクールはこの作品で「いかなる戦争においても、誰も勝者たり得ず、多くを失わせるだけだ」ということを訴えている。2007年作曲。

## OBバンド演奏

### ●アルメニアン・ダンス パートI

*Armenian Dances Part I*

### アルフレッド・リード

*Alfred Reed ( 1921-2005:アメリカ )*

あんずの木 - やまうずらの歌 - おーい僕のナザン - アラギヤス山 - 行け、行け

吹奏楽界の巨匠、リード博士が他界したのは2005年。生涯で多くの優れた吹奏楽曲を作曲、近代吹奏楽の発展への貢献は計り知れない。リードは民族音楽の宝庫と言われるアルメニアに伝わる音楽に惹かれ、その収集で知られるゴミダス・ヴァルタベッド(1869-1935)の集めた音楽集から5曲引用して、この作品の第1部にあたるPart Iを1972年に作曲した。輝かしい金管楽器のファンファーレにより幕開けとなり、ドラマティックに展開しながら、熱狂的なクライマックスで幕を閉じる。なお、続編としてPart IIが存在するので、後ほど紹介したい。

### ■ジョイントOBバンド■

皆さんこんにちは、ジョイントOBバンドです。「また一緒に音楽やりたいね!」。そんな気持ちを持ったメンバーが集まりました。また、今年から1つの楽団として活動を始め、ジョイントの翌日には立ち揚げ演奏会を開催します。かつての仲間が世代を超えて皆様に熱い演奏をお届けします。

### ♪指揮者 井口信之輔

2006年 市川西高校(現・市川昂) 卒業  
2010年 洗足学園音楽大学 卒業  
現在 フリーのコントラバス奏者  
吹奏楽指導者として活躍中  
BRASS EXCEED TOKYOメンバー  
趣味 アロマセラピー(とのこと)

「J Wind Orchestra」第1回演奏会 12/27(木) 市川市民会館 17:30開演 (17:00開場) 入場無料

## 1年生合同バンド

### ●ロルヴァ・ホロヴェル(ロリの歌)

Lorva Horovel ( Songs from Loli )  
- From Armenian Dances Part II Mov.III

### アルフレッド・リード

Alfred Reed ( 1921-2005:アメリカ )

リード作曲「アルメニアン・ダンス」には、先ほど紹介したPart I の続編として、1975年に作曲されたPart IIが存在する。こちらは全3楽章から成り、今回は第3楽章(終楽章)を演奏する。「ロルヴァ・ホロヴェル」はロリ地方の民謡。「ロリの歌」と呼ばれることも多い。終楽章にふさわしく壮大なスケールの曲で、Part Iと同じく、熱狂的な結末で締めくくられる。

### ●組曲「宇宙戦艦ヤマト」

Suite "Space Battleship YAMATO"

(I)序曲 (II)宇宙戦艦ヤマト (III)出撃 (IV)大いなる愛

### 宮川 泰 ( 宮川彬良 編曲)

Hiroshi Miyagawa ( 1931-2006:日本 )

松本零士原作のSFアニメ「宇宙戦艦ヤマト」は、1974年～75年にTV放送され、1977年に劇場公開されて大ヒットした。物語は西暦2199年。地球は謎の異星人ガミラス帝国の攻撃により汚染され、人類は滅亡の危機に瀕していた。その汚染を除去する装置を受け取りに行くため「宇宙戦艦ヤマト」を建造し、大マゼラン星雲のイスカンダル星へ向かう…といった内容である。音楽は日本ポップス界の巨匠、宮川泰が担当した。今回演奏するのは、その息子である宮川彬良が編曲して作った吹奏楽組曲である。なお、「宇宙戦艦ヤマト」は、2012年よりリメイク版(全24話)が制作中で、ビデオで順次公開されている。宮川彬良はその音楽も担当している。2013年以降にTV放送も予定されており、今後話題になるだろう。2002年出版。

### ●ジブリ・メドレー

Ghibli Medley

### 久石 譲 ( 真島俊夫 編曲)

Joe Hisaishi ( b.1950:日本 )

スタジオジブリ、宮崎駿監督のアニメ映画と言えば、久石譲の音楽の存在が大きい。この曲は、その名旋律を集めて作られたメドレーである。使用されている曲と映画名は下記参照。同じような吹奏楽作品は過去にもあったが、2012年出版の本作は、アレンジ界の大家、真島俊夫の手により、全く違う映画の、性格の異なる音楽が巧みに結びつけられ、単なるメドレーという枠を超えて、1つの曲として成立しているとも言えるほど、完成度の高い作品である。

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| ①：鳥の人 (風の谷のナウシカ)  | ④：ナウシカレクイエム (風の谷のナウシカ) |
| ②：海に見える街 (魔女の宅急便) | ⑤：君をのせて (天空の城ラピュタ)     |
| ③：あの夏へ (千と千尋の神隠し) | ⑥：アシタカせっ記 (もののけ姫)      |

### ●グラティチュード・ジャーニー - 永遠なる陸奥への想い 八木澤教司

Journey of Gratitude

- Caring Together with The Tohoku Region of Japan

Satoshi Yagisawa ( b.1975:日本 )

八木澤教司さんは市川市在住の若手作曲家で、ジョイント参加各校の顧問とも親交があり、いつも専門的なアドバイスを頂いている。管弦楽曲、吹奏楽曲、アンサンブル曲など幅広いジャンルで次々と新作を発表しており、創作意欲は衰えを知らない。この曲は、美しい陸奥(東北)をテーマに曲を書いて欲しいとの要望に応じて作曲された。2012年新作。この地域は2011年3月11日の東日本大震災によって、地震・津波・原発事故といった災害に見舞われたが、国内・海外からの支援を受けて、復興に向けて歩み始めている。被災地を幾度となく訪れた作曲者は、被災者から話を聞くうちに、その災害が想像を絶するものであり、大震災を直接音楽で描くという軽はずみなことは許されないことを悟ったという。やがて、震災発生から1年を迎え、被災地の人々から「絆」、「感謝」といった言葉が聞かれるようになり、世界中が「陸奥に多くのエールを送り続けることが大切」だと実感した作曲者は、陸奥の美しい自然と、人々の前向きな希望を描写した曲を書き上げた。これはまさに陸奥への応援歌と言えよう。※タイトルに含まれる「Gratitude」は「感謝」という意味。「永遠」は「とわ」、「陸奥」は「みちのく」と読みます。

## 2年生合同バンド

### ●スターウォーズ：ザ・ファントム・メナス ジョン・ウィリアムズ (R.スミス編曲)

*Symphonic Suite from Star Wars:  
Episode I The Phantom Menace*

*John Williams ( b.1932:アメリカ )*

1977年公開のSF映画「スター・ウォーズ」は、ジョージ・ルーカスが長年温めて来た構想が映像化されたもので、1980年、1983年に続編が公開されて一度完結した。この3部作は現在ではエピソード4・5・6と呼ばれている。それから16年後、1999年に物語の重要人物、全身黒衣のダース・ベイダーの少年期、アナキンを描いたエピソード1が公開され、大ヒットで迎えられた。ハリウッドの映画音楽は、ジョン・ウィリアムズが多数作曲しており、このSWシリーズの音楽も全て彼の曲である。今回演奏するのは、エピソード1の音楽から、米国の作曲家R. W. スミスが数曲選んで編集した交響組曲で、①メインテーマ、②運命の闘い、③アナキンのテーマ、④オーギーの大楽隊、⑤エンドクレジット…へと展開する。1999年出版。なお、2002年、2005年に続編が公開され、この3部作はエピソード1・2・3と呼ばれている。2012年にディズニーがSWシリーズを買収、待望のエピソード7の2015年公開が発表された。

### ●交響詩「エグモント」

*Egmont - Symphonic Poem*

### ベルト・アッペルモント

*Bert Appermont ( b.1973:ベルギー )*

ベルギーの若手作曲家アッペルモントについては前述の通りである。この曲は、スペイン統治下にあった、16世紀のネーデルランド(現在のオランダとベルギーの辺り)に実在したエグモント伯爵の悲劇の物語に着想を得て作曲された、4部構成の交響詩である。2004年作曲。

#### ・第1部：結婚

16世紀の結婚式の雰囲気、ルネサンスダンスのリズムで表現。伯爵の結婚式の宴の様子。やがて現れるカスタネットを伴う勇壮なリズムは、伯爵がスペイン王の忠実な臣下であることを表わす。

#### ・第2部：フェリペ2世とエグモント

ギターとカスタネットのリズム、サクスの旋律は恐怖政治を行うスペイン王フェリペ2世を示し、時折現れる弱々しい旋律は揺れる伯爵の心の表現。やがて王の考え方には同意が難しいことを悟る。

#### ・第3部：臣下の想いの結末

フェリペ2世に対する忠節にもかかわらず、王に裏切られ、言われなき罪で投獄される。処刑場へ歩みを進める伯爵。群衆の抗議の声は悲嘆に変わるも届かず。人々の見守る中、伯爵は処刑される。

#### ・第4部：反スペインの団結

伯爵が公開の場で処刑されたことが、人々に衝撃と抗議をもたらし、スペインへの怒りが爆発する。曲は戦いの場面となり、最後はファンファーレが高鳴り、ネーデルランドの勝利で曲は幕を閉じる。

### ●ロスト・ムーン

*Lost Moon - Man on the Moon Episode 2 -*

### 清水大輔

*Daisuke Shimizu ( b.1980:日本 )*

(0)大統領の夢 (I)大統領のスピーチ (II)アポロ13号 (III)トラブル発生 (IV)生還

清水大輔は新進気鋭の若手作曲家。2007年作曲の本作は、致命的な事故により、月面に着陸出来ずに帰還した悲劇の宇宙船「アポロ13号」の物語を描いた意欲作。0. 大統領の夢: ケネディ大統領の「私達は月に行くことを選択しました」という有名なスピーチが流される。以後本編となる。I. 大統領のスピーチ: ケネディ大統領のスピーチから得た印象。II. アポロ13号: 1970年4月13日の打ち上げの光景。III. トラブル発生: 液体酸素タンクが爆発、月面着陸はおろか、乗組員の帰還さえ危ぶまれる状況。乗組員や地上職員の焦りや不安、困難に立ち向かう精神などが描かれている。IV. 生還: 世界中が見守るなか、アポロ13号は大気圏に再突入して通信が途切れる。果たして成功か失敗か…。静寂に包まれるが、やがて通信が回復し、乗組員全員の無事帰還が確認される。この偉業を称える輝かしい音楽で感動的に幕を閉じる。

初回合奏では「本当に出来るのか?」と途方に暮れた部員たち(だって初見だし…)。しかし「アポロ13号」の乗組員の如く、最後まで諦めずに困難な状況(厳しい練習)に立ち向かい努力してきた。まさにメインに相応しい選曲。これぞジョイント!。この演奏は聴き逃さない!